

平成30年度事業報告

I 会務報告

1. 秋篠宮殿下ご視察等

- (1) 4月19日秋篠宮同妃両殿下は神宮宮域林をご視察になり、田中会長、神宮司庁笹岡営林部長がご説明した。
- (2) 11月30日秋篠宮殿下誕生茶会に、田中会長、永田、吉川、梶谷副会長、杉山常務の5名が参加した。

2. 会議の開催

- (1) 5月8日、第1回理事会を開催し、総会提出議案を審議・決定した。
- (2) 5月23日、通常総会を開催し、平成29年度の事業報告・決算について審議し原案どおり承認された。平成30年度の事業計画・予算について報告した。
総会に先立ち参与会議を開催し、「創意工夫表彰行事」で優秀賞を受賞した岐阜県丹羽健司氏から「木の駅プロジェクトの標準化と普及支援」について話題提供をして頂き、意見交換を行った。
- (3) 平成31年3月6日、第2回理事会を開催し平成31年度事業計画及び予算について審議し、決定した。
- (4) このほか、毎月、常務役員会を開催し、会務運営の重要事項について協議した。

3. 会員の動向

平成31年3月31日現在の会員数は、正会員786名、特別会員29名計815名となっている（平成30年3月31日比で13名の減少）。

4. 公益法人関係

6月29日付けで、内閣府公益認定等委員会に対し、平成29年度事業及び決算を報告した。

11月15日に、内閣府立入検査が行われた。口頭指導があった。

平成31年3月18日付けで、内閣府公益認定等委員会に対し、平成31年度事業計画書及び収支予算書を報告した。

II 事業の実施

森林・林業を取り巻く諸情勢を踏まえつつ、①普及啓発事業、②調査研究事業、③山林事業、④文献センター事業の4つの公益事業に取り組んだ。

1. 普及啓発事業（公- 1）

（1）森林・林業に関する指導、奨励及び普及

- ① 4月4日青山霊園において日本近代林学の創始者である松野礪（はざま）先生の墓参をし、業績を顕彰した。
- ② 4月20日日本多静六賞授与式に審査委員長である田中会長が出席し、挨拶した。
- ③ 6月8日開催の樹木医会浜松大会に田中会長が出席し挨拶した。
- ④ 6月9日開催の「第47回全国林業後継者大会」（福島県）に杉山常務が出席し、激励の言葉を述べた。
- ⑤ 6月10日開催の「第68回全国植樹祭」（福島県）に田中会長が出席した。
- ⑥ 7月10日開催の「第65回全国乾椎茸品評会表彰式」に協賛し、来賓として田中会長が出席し、大日本山林会会長賞を授与した。
- ⑦ 7月18日開催の「全国林業普及懇話会通常総会」（東京都）に田中会長が来賓として出席し、挨拶を行った。
- ⑧ 11月18日開催の「第42回全国育樹祭」（東京都）に永田副会長が出席した。
- ⑨ 平成31年1月17日全国林業試験研究機関協議会主催による「第52回森林・林業技術シンポジウム」（東京都）に田中会長が来賓として出席し、挨拶を行った。
- ⑩ 関係団体等の開催するシンポジウム等に幅広く出席すると共に、情報の収集・交換に努めた。
- ⑪ 「緑の募金支援団体」としての募金協力、関係団体への活動支援などを通じ、森林・林業の奨励・普及に努めた。

（2）森林・林業に関する講習、研修及び講演会の開催

- ① 平成31年1月28日三会堂ビル石垣ホールにおいて、「持続可能な社会に向けて一木材利用と地球環境」と題したシンポジウムを開催した。
- ② 10月24日～26日に宮崎県において「スギ大径材利用の可能性を探る」をテーマに現地研修会を実施した。
- ③ 東京大学において「森林政策学」「森林資源経済学」の講義を永田副会長が実施した。
- ④ 東京農業大学において「現代社会と経済」の講義を原参事が実施した。

（3）国外への林業振興上の技術援助

海外の法人会員への『山林』の送付などを通じ、海外との情報交換に努めた。

（4）森林・林業教育の振興及び研究の助成

- ① 高校での林業教育を取り巻く課題について現況把握すると共に、現場教員との交流を深めるため、8月2～3日、奈良県において開催された第3回全国高等学校農業教育研究協議会環境技術・創造部会（開催校：奈良県立吉野高等学校）を後援し、永田副会長、小田主事が出席した。平成31年度は、島根県で開催の予定。

②平成31年3月20日～23日に新潟市で開催された「第130回日本森林学会大会」において、高校生ポスター発表に協賛し最優秀賞楯、参加賞等を贈呈するとともに表彰式で田中会長が挨拶した。

(5) 森林・林業に関する発明、改良の奨励

平成30年度の「創意工夫表彰」行事について、9月1日から平成31年1月31日まで募集を行い、応募のあった3件について2月20日開催の審査委員会において審査を行い、次のとおり受賞者を決定した。

優秀賞 藤原 儀兵衛（長野県）

マツタケのシロを増やす「根切り法」

奨励賞 富田 勝幸（兵庫県）

林産事業作業日報分析プログラム

奨励賞 木沢林業研究会（徳島県）

ミツマタ、シカの地域特産化

(6) 森林・林業に関する刊行物の発行

①月刊誌『山林』を第1607号～第1618号まで発行した。

②第57回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事受賞者の経営概要を要約した「選ばれた林業経営」を刊行した。

③「日本の森林と林業」「森林の世界へ出かけよう」「昭和林業逸史」をはじめとする既刊本の販売に努めた。

(7) 森林・林業功労者の表彰

①第57回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事については、都道府県から推薦を受けた優良林業事業者について、2度にわたる審査委員会及び該当地域所管の森林管理局森林整備部長による現地審査を経て、農林水産大臣賞8点、林野庁長官賞16点、大日本山林会会長賞5点計29点を決定した。11月8日本会総裁秋篠宮殿下の御臨席の下、賞状伝達・贈呈式及び祝賀パーティーを挙行了した。

②12月11日伊勢神宮崇敬会の実施する農事関係功労者顕彰行事において、本会が推薦した滋賀県の宮城定右衛門参与が林業部門で表彰された。また、田中会長が出席し、来賓代表として祝辞を述べた。

2. 調査研究事業（公-2）

(1) 29年度林業経済研究所委託調査「林野 commons の過少利用に対応した制度変化に関する調査」の報告書を関係者に配布した。

(2) 30年度は「林家が素材生産を行う収益水準とその決定要因」に関する調査研究を林業経済研究所に調査委託した。

3. 山林事業（公-3）

(1) 11月19日、奥多摩所有林分調査の事前準備を東京都森林組合の案内で、東京大学仁多見准教授外、杉山常務、前澤参事が行った。

- (2) 11月20日、秩父所有林の現地調査を山中管理人の案内で、田中会長、杉山常務、前澤参事が行った。
- (3) 平成31年2月14日、大多喜所有林管理人を磯部氏に依頼し鈴木前管理人との引き継ぎ、併せて杉山常務、前澤参事が現地調査を行った。
- (4) 平成31年2月14日、久留里部分林の現地調査を朝生管理人の案内で、杉山常務、前澤参事が行った。
- (5) 秩父所有林境界確認のため小鹿野町から地籍図、林班図を入手した。
- (6) 東京大学との共同研究として「3D地上レーザースキャン計測による林分調査」を奥多摩所有林で行い、報告書を取りまとめた。

4. 文献センター事業（公-4）

- (1) 6月29日、文献センター運営委員会を開催し、前年度の事業報告を行い、今後の事業運営等について協議した。
- (2) 「収蔵文献・検索システム」に登録されている文献数は、平成31年3月31日現在で31,228件となっている。
- (3) 機関誌『山林』掲載記事を検索できる「検索システム」は順調に稼働している。
- (4) 当会発行の書籍につき、在庫状況を確認し、発行書籍を取りそろえるための準備を行った。また破損書籍につき27冊の修復を行った。
- (5) 日本森林学会が公募している「林業遺産」に「文献センターと収集資料群」として応募、申請することにつき検討した。

5. 収益事業（収-1）

基本財産を有効に活用し、収益事業を実施した。